SONY

4-532-707-**01**(1)

デジタルHD
ビデオカメラレコーダー

ハンドブック

目次

やりたいことから探す

設定一覧から探す

索引

JP

© 2014 Sony Corporation

HDR-AS100V

ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。

機能別に探せます

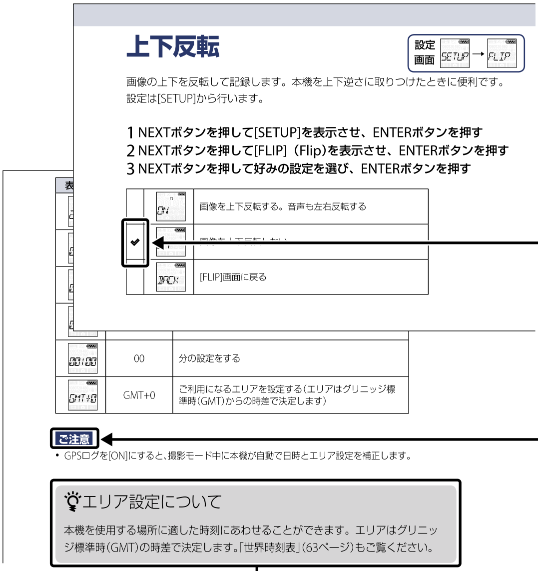
目的別に探せます

設定一覧から探せます

キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について



お買い上げ時の設定は✔で表しています。

本機を正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

知っておくと便利な情報を記載しています。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

操作前のご注意

表示言語について

本機では英語、フランス語、ブラジルポルトガル語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

録画・再生・接続に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 再生をする場合は、マイクロHDMIケーブル（別売）で他機につないでご使用ください。
- 本機は防じん、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください（74ページ）。
- 端子カバー、バッテリー/メモリーカードカバーが開いた状態で、本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（74ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機以外で撮影/編集および生成した動画は再生できません。
- NTSC/PAL切り換えを変更すると、画質設定モードで設定できる数値が変わります。本書では、[NTSC]選択時、[PAL]選択時の数値を併記しています。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーについて詳しくは、72ページをご覧ください。

表示パネルおよびレンズについてのご注意

- 表示パネルやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 表示パネルを強く押さないでください。表示パネルの故障の原因になります。

画像の互換性について

- 本機はMP4規格を採用していますが、すべてのMP4規格対応機器で再生できることを保証するものではありません。
- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system” （DCF）に対応しています。

著作権について

あなたが本機で撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

万一、本機やメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

本書中のイラスト、画面表示について

- 画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。
- 本書では、メモリースティック マイクロ™やmicroSD カードを「メモリーカード」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

他機での再生について

- 本機は、HD（ハイビジョン）画質の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でHD（ハイビジョン）画質で記録した映像はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

ワイヤレスLAN機能について

- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANへのアクセスは、地域によってご利用できない可能性や、別途料金が課せられる可能性、通信に障害が起きたり途切れがちになったりする可能性があります。詳細はワイヤレスLANの管理者やプロバイダーにご確認ください。
- ネットワークサービスのご提供にあたっては弊社はいかなる保障もいたしません。ネットワークサービスの使用によって生じた損害について、第三者からのいかなる請求等についても一切の責任を負いかねます。
- 紛失や盗難などによって本機に登録されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティーについて

ワイヤレスLANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ZEISSレンズ搭載

本機はZEISSレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。
本機用に生産されたレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品のワイヤレスLAN機能は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

GPS機能について

- GPS機能は、ご利用になる国や地域の規制に従ってお使いください。
- 位置情報を記録しない場合はGPSログを[OFF]にしてください（34ページ）。
- GPSログが[ON]の状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合GPSログを[OFF]にして撮影してください(34ページ)。

防滴について

本体部はIPX4相当（当社試験方法による）の防滴性能があります。

- あらゆる方向からの水の飛沫によっても有害な影響がない構造です。シャワーや水道の噴流水に対しては保護されません。
- USBケーブルやHDMIケーブルなどをつないだときは、防滴にはなりませんのでご注意ください。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は防滴性を

保証しません。修理相談窓口で点検をお勧めします（有料）。

- お客様の誤ったご使用方法での故障については保証対象外となります。
  - 水中では使わない（防水構造ではありません）。
  - 端子カバー、バッテリー/メモリーカードカバーはしっかり閉じる（カバーが開いた状態では内部に水が入る原因となります。手に水がついた状態での開閉は行わないでください）。

目次

ご使用の前に

ハンドブックの便利な使いかた……2
操作前のご注意……3
やりたいことから探す……8
設定一覧から探す……9
各部の名前……11

準備する

同梱品を確認する……12
バッテリーを入れる……13
メモリーカードを入れる……16
日時・エリア設定……18
サマータイム設定……19
画質設定モード……20
手ブレ補正……22
上下反転……23
シーン……24
インターバル静止画記録……25
カラー設定……26
XAVC S……27
タイムコード/ユーザービット……28
IRリモコン……30
環境設定……31
Wi-Fiリモコン……32
コピー……33
GPSログ……34
飛行機モード……36
USB給電……37
オートパワー OFF……38
操作音……39
言語設定……40
NTSC/PAL切り換え……41
設定値リセット……42
フォーマット……43
アクセサリーを使う……44

撮る

撮る……51

見る

テレビで見る……53

無線LAN(Wi-Fi)を使う

スマートフォンとつなぐための準備……54
スマートフォンとつなぐ……55
ライブビューリモコンとつなぐ……59

パソコンを使う

パソコンとつないでできること……61
パソコンの準備をする……62

困ったときは

故障かな？と思ったら……64
警告表示……68

その他

記録時間について……70
バッテリーについて……72
海外で使う……73
使用上のご注意……74
保証書とアフターサービス……77
主な仕様……78

索引

索引……81

やりたいことから探す

動画や静止画を撮りたい	撮る	51
高ビットレートの撮影を楽しみたい	XAVC S	27
動画のファイルサイズを変更したい	画質設定モード	20
位置情報を記録したい	GPSログ	34
画像を削除したい	フォーマット	43
日時・エリアを変えたい	日時・エリア設定	18
最初の設定に戻したい	設定値リセット	42
テレビで見たい	テレビで見る	53
スマートフォンやタブレットで操作したい	スマートフォンとつなぐための準備	54
	スマートフォンとつなぐ	55
スマートフォンに本機の画像をコピーしたい	コピー	33
ライブビューリモコンで操作したい	ライブビューリモコンとつなぐ	59

設定一覧から探す

設定一覧

「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

モード一覧

画面表示	モード
MOVIE	動画モード
PHOTO	静止画モード
INTVL	インターバル静止画記録モード
VMODE	画質設定モード
SETUP	設定モード
PLAY	再生モード
PwOFF	電源切

SETUPで設定できる項目

画面表示	項目
STEDY	手ブレ補正
FLIP	上下反転
SCENE	シーン
LAPSE	インターバル静止画記録
COLOR	カラー設定
PRO	XAVC S™
TC/UB	タイムコード/ユーザービット
IR-RC	IRリモコン
CONFG	環境設定

CONFGで設定できる項目

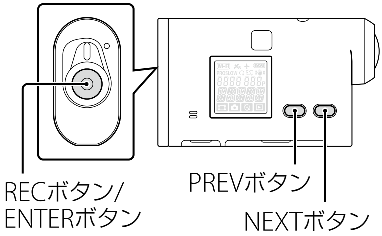
画面表示	項目
Wi-Fi	Wi-Fiリモコン
GPS	GPSログ
PLANE	飛行機モード
USBPw	USB給電
A.OFF	オートパワー OFF
BEEP	操作音
DATE	日時・エリア設定
DST	サマータイム設定
LANG	言語設定
V.SYS	NTSC/PAL切り換え
RESET	設定値リセット
FORMT	フォーマット

ご注意

- 本機では英語、フランス語、ブラジルポルトガル語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

次のページにつづく↓

設定のしかた



本機は以下3つのボタンで設定をします。

NEXT* ： メニュー送り

PREV* ： メニュー戻し

ENTER ： メニュー決定

* NEXT、PREVボタンのどちらを押してもメニューが切り替わるので、本書内ではNEXTボタンのみで説明をします。PREVボタンだけで操作する場合、PREVボタンを記載します。

1 NEXTまたはPREVボタンを押して、電源を入れる

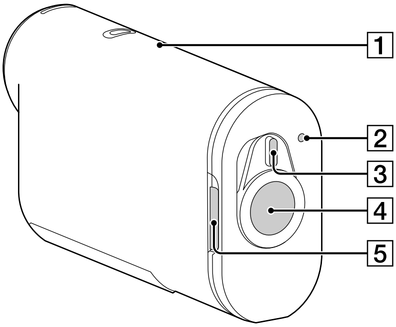
電源を切るには[PwOFF]を選び、ENTERボタンを押す。

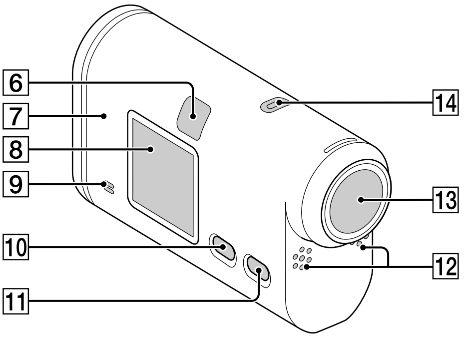
2 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

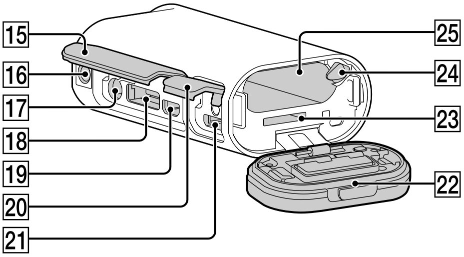
3 NEXTボタンを押して設定する項目を表示させ、ENTERボタンを押す

[SETUP]画面に戻るには、[BACK]を選び、ENTERボタンを押す。

各部の名前







1 GPS受信部
2 REC/アクセス/CHG（充電）ランプ*1
3 REC HOLD（誤操作防止）スイッチ*2
4 REC（動画/静止画）ボタン
ENTER（メニュー決定）ボタン
5 ロックレバー
6 IRリモコン受信部
7 N（Nマーク）*3
8 表示パネル
9 スピーカー
10 PREVボタン
11 NEXTボタン
12 マイク
13 レンズ
14 RECランプ
15 端子カバー
16 三脚アダプター取り付け穴
17 🎤（外部マイク）端子*4
18 拡張端子*5
19 HDMI OUT端子
20 端子カバー（USB）
21 マルチ/マイクロUSB端子*6
22 バッテリー/メモリーカードカバー
23 メモリーカード挿入口
24 バッテリー取りはずしつまみ
25 バッテリー挿入口

*1 動画記録/アクセス中は赤色、CHG（充電）中はオレンジ色に点灯します。

*2 携帯時など、誤ってRECボタンが押されることを防ぎます。スイッチを本機上の矢印の方向にスライドすると、RECボタンの操作が無効になります。解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

*3 NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
NFC（Near Field Communication）は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

*4 外部マイク（別売）接続時は、内蔵マイクからの録音はできません。

*5 アクセサリーの接続に使用します。

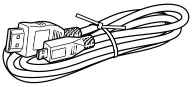
*6 マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

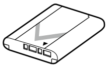
同梱品を確認する

箱を開けたら、同梱品がそろっているか確認してください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。( )内は個数。

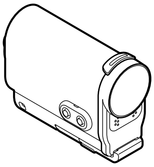
- 本機(1)
- マイクロUSBケーブル(1)



- リチャージャブルバッテリーパック(NP-BX1)(1)

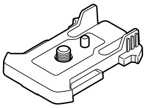


- ウォータープルーフケース(SPK-AS2)(1)

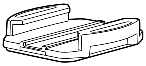


- 接着式マウント(VCT-AM1)

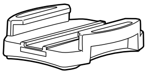
  装着バックル(1)



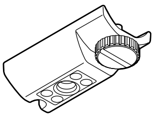
  平面用接着マウント(1)



  曲面用接着マウント(1)



- 三脚アダプター (1)

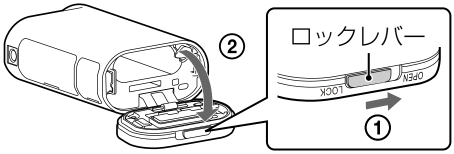


- ハンドブック(本書)

  本機の内蔵メモリーに搭載されています。
- 印刷物一式

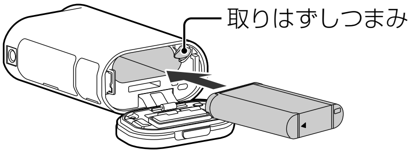
バッテリーを入れる

1 ロックレバーを黄色いマークが見えるまでずらして、カバーを開ける



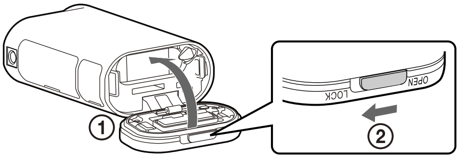
2 バッテリーを入れる

バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみの方向に押しながら入れます。取りはずしつまみがロックされるまで押し込みます。



3 カバーを閉じる

カバーをしっかり閉め、ロックレバー部に黄色いマークが見えなくなることを確認してください。



バッテリーを取りはずすには

カバーを開けて、取りはずしつまみをずらしてバッテリーを取り出します。

オートパワー OFFにするには

[SETUP] → [CONFG]画面から[A.OFF]を選び、自動電源オフの設定をします。お買い上げ時は[60sec]に設定されていますので、必要に応じて変更してください。詳しくは、「オートパワー OFF」（38ページ）をご覧ください。

次のページにつづく↓

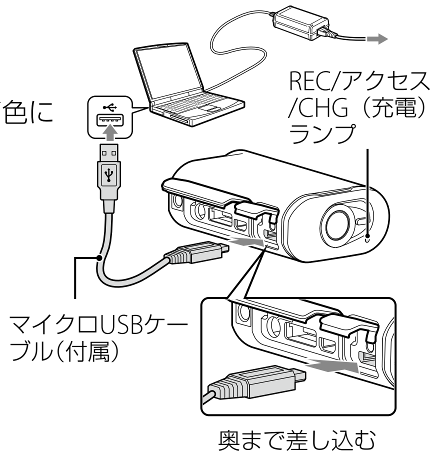
充電をする

1 本機の電源を切る

電源が入っている状態では、充電はできません。

2 本機と起動しているパソコンをマイクロUSBケーブル（付属）で接続する

REC/アクセス/CHG（充電）ランプが、オレンジ色に点灯します。



3 充電が完了したら、本機とパソコンの接続を切断する

REC/アクセス/CHG（充電）ランプが消灯したら充電完了（満充電）です（72ページ）。

ご注意

- 本機では、Xタイプのバッテリーのみ使用できます。
- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 本機をパソコンに接続しているときに、無理な力を加えないでください。本機やパソコンが破損することがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 自作パソコンや改造したパソコンでの充電や接続は保証できません。同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- 本機を長期間使わない場合、半年から1年ごとに充電してください。

充電にかかる時間は？

充電時間

バッテリーパック	パソコン経由で充電	AC-UD20*（別売）経由で充電
NP-BX1（付属）	約245分	約175分

- バッテリーを使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

* USBチャージャー AC-UD20（別売）をお使いになると、急速充電ができます。接続する場合、マイクロUSBケーブル（付属）で接続してください。

次のページにつづく↓

バッテリーの残量を確認する

表示パネル右上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

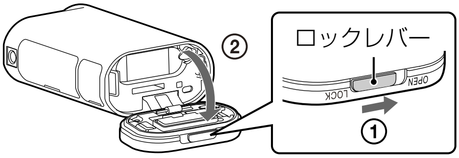
多 なし

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

メモリーカードを入れる

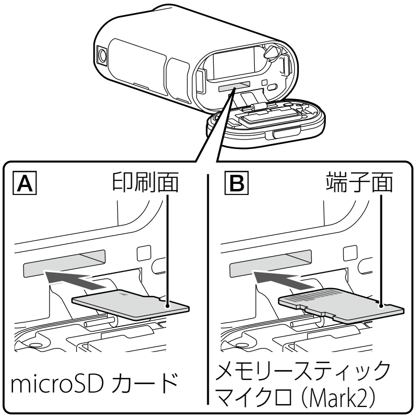
1 ロックレバーを黄色いマークが見えるまでずらして、カバーを開ける



2 メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む

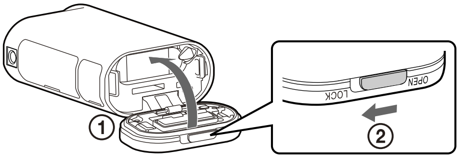
microSD カード：イラストAの向きに入れてください。
メモリースティック マイクロ（M2）：イラストBの向きに入れてください。

- [WAIT]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- まっすぐに正しい向きで挿入しないと本機で認識されません。



3 カバーを閉じる

カバーをしっかり閉め、ロックレバー部に黄色いマークが見えなくなることを確認してください。



メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押します。

本機で使えるメモリーカードは？

MP4を記録するとき

メモリーカードの種類	SDスピードクラス	本書での表現
メモリースティック マイクロ（Mark2）	―	メモリースティック マイクロ
microSD メモリーカード	Class 4 以上	microSD カード
microSDHC メモリーカード		
microSDXC メモリーカード		

XAVC Sを記録するとき

メモリーカードの種類	SDスピードクラス	本書での表現
microSDXC メモリーカード	Class 10 以上	microSD カード

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- XAVC Sを記録する場合は、exFAT対応のメモリーカードをご使用ください。

次のページにつづく↓

ご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします（43ページ）。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。
- 大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカード挿入口、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードの挿入口には、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。
- 本機は－10 ℃から40 ℃の動作保証をしておりますが、メモリーカードの種類によっては、動作保証温度が異なる場合があります。
  詳しくはメモリーカードの取扱説明書をお読みください。
- microSDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。
  *exFATは、microSDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

日時・エリア設定

設定画面

→

→

年-月-日、および エリア設定をします。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

2 **NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **NEXTボタンを押して[DATE]（Date Time）を表示させ、ENTERボタンを押す**

4 **NEXTボタンを押して希望の日時、エリアを変更し、ENTERボタンで確定させる**

真夜中は00：00、正午は12：00に設定します。

表示画像	出荷時設定	
	2014	年の設定をする
	01	月の設定をする
	01	日の設定をする
	00	時の設定をする
	00	分の設定をする
	GMT+0	ご利用になるエリアを設定する（エリアはグリニッジ標準時（GMT）からの時差で決定します）

ご注意

- GPSログを[ON]にすると、撮影モード中に本機が自動で日時とエリア設定を補正します。

エリア設定について

本機を使用する場所に適した時刻にあわせることができます。エリアはグリニッジ標準時（GMT）の時差で決定します。「世界時刻表」（73ページ）もご覧ください。

サマータイム設定

設定画面 SETUP → CONFG → DST

サマータイムの設定ができます。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[DST]（Daylight Saving Time）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

	ON	サマータイムを設定する
✓	OFF	サマータイムを設定しない
	BACK	[DST]画面に戻る

画質設定モード

設定画面

動画撮影時の解像度、フレームレートを設定することができます。
[PRO]の設定内容により、設定できる画質が変わります（27ページ）。

1 NEXTボタンを押して[VMODE]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して好みの画質設定を選び、ENTERボタンを押す

[PRO]が[OFF]の場合（MP4記録）

	表示画像	記録映像	解像度	撮像フレームレート*1	再生フレームレート*1
		最高解像度（2倍なめらか映像）	1920 × 1080	60p/50p	60p/50p
✓		最高解像度	1920 × 1080	30p/25p	30p/25p
		高解像度	1280 × 720	30p/25p	30p/25p
		ハイスピード撮影（4倍なめらか映像）*2	1280 × 720	120p/100p	120p/100p*3
		ハイスピード撮影（8倍なめらか映像）*2	800 × 480	240p/200p	240p/200p*3
		スーパースロー撮影（4倍スローモーション映像）	1280 × 720	120p/100p	30p/25p
		標準解像度	640 × 480	30p/25p	30p/25p
		[VMODE]画面に戻る			

*1 NTSC/PAL切り換え（41ページ）の設定によって、フレームレートが変更されます。
*2 ソフトウェアPlayMemories Home™を使うと、60p/50pで標準の速度で再生されます。またスローモーションで再生、編集を行うことができます（61ページ）。
*3 再生する機器やソフトウェアによっては、60p/50pで再生されます。

次のページにつづく↓

[PRO]が[ON]の場合（XAVC S記録）

[V.SYS]で[NTSC]を選択した場合

	表示画像	記録映像	解像度	撮像フレームレート	再生フレームレート
		XAVC S 50Mbps	1920×1080	60p	60p
		XAVC S 50Mbps	1920×1080	30p	30p
		XAVC S 50Mbps	1920×1080	24p	24p

[V.SYS]で[PAL]を選択した場合

	表示画像	記録映像	解像度	撮像フレームレート	再生フレームレート
		XAVC S 50Mbps	1920×1080	50p	50p
		XAVC S 50Mbps	1920×1080	25p	25p

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。SSLOWでは約3時間になります。
- [SSLOW]のときは、撮影時の音声は記録されません。
- [HS120]/[HS100]、[HS240]/[HS200]、[SSLOW]、[VGA]のときは、画角が変わります。
- [HS120]/[HS100]、[HS240]/[HS200]、[SSLOW]のときは、手ブレ設定が無効になります。
- [HS120]/[HS100]、[HS240]/[HS200]の画像を本機で再生すると、60p/50pで標準の速度で再生されます。

手ブレ補正

設定画面 SETUP → STEDY

手ブレを補正して撮影できます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[STEDY]（SteadyShot）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	ON	手ブレ補正機能を使う（画角：120°）
	OFF	手ブレ補正機能を使わない（画角：170°）
	BACK	[STEDY]画面に戻る

ご注意

- お買い上げ時の設定では画角は120°になります。より広角で撮影したいときは、[STEDY]を[OFF]にしてください。
- 画質設定モードが[HS120]/[HS100]、[HS240]/[HS200]、[SSLOW]、[VGA]のときは、画角が変わります。
- 次のときは、手ブレ設定が無効になります。
  －画質設定モードが[HS120]/[HS100]、[HS240]/[HS200]、[SSLOW]のとき
  －静止画モードのとき
  －インターバル静止画記録モードのとき

上下反転

設定画面

→

画像の上下を反転して記録します。本機を上下逆さに取り付けたときに便利です。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[FLIP]（Flip）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

		画像を上下反転する。音声も左右反転する
✓		画像を上下反転しない
		[FLIP]画面に戻る

シーン

設定画面 SETUP → SCENE

シーンを設定します。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[SCENE]（Scene）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	NORML	標準の画質で撮影する
	WATER	水中での撮影に適した画質で撮影する
	BACK	[SCENE]画面に戻る

ご注意

- 本機を水中に入れるときは、ウォータープルーフケースをお使いください（45ページ）。

インターバル静止画記録

設定画面

→

インターバル静止画記録の間隔を設定します。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[LAPSE]（Interval）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

		約1秒間隔で静止画を撮影し続ける
✓		約2秒間隔で静止画を撮影し続ける
		約5秒間隔で静止画を撮影し続ける
		約10秒間隔で静止画を撮影し続ける
		約30秒間隔で静止画を撮影し続ける
		約60秒間隔で静止画を撮影し続ける
		[LAPSE]画面に戻る

ご注意

- 1枚目の撮影は撮影を開始した直後、設定された間隔を待たずに即撮影され、2枚目以降の撮影から設定された間隔を待って撮影されます。
- 最大撮影枚数は動画コンテンツと合わせて40000コンテンツとなります。

カラー設定

設定画面 SETUP → COLOR

撮影時の色合いの設定ができます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[COLOR]（Color）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

	NUTRL	自然な色合いで撮影する
✓	VIVID	鮮やかな色合いで撮影する
	BACK	[COLOR]画面に戻る

XAVC S

設定画面

→

プロ用の撮影に適した設定です。動画記録フォーマットがXAVC Sになり、約50Mbpsの高ビットレートで高画質の動画を記録できます。また、タイムコード/ユーザービットを設定できるようになります。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[PRO]（Pro）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選択する

		XAVC Sで記録する 画質設定モードで記録する画質を選択してください（20ページ）
✓		MP4で記録する スマートフォンに転送したり、Webにアップロードする場合はこちらを選ぶ
		[PRO]画面に戻る

ご注意

- XAVC Sを記録するには、対応したメモリーカードが必要です（16ページ）。

タイムコード/ユーザービット

設定画面 SETUP → TC/UB

[PRO]を[ON]にするとタイムコード/ユーザービット機能を使用できます。
[TC/UB]から以下の設定ができます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[TC/UB]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[TCSET]または[UBSET]を選び、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

TCSET		P.rSEt	タイムコードを設定する • 4桁の数値を選びENTERを押して決定します • タイムコードは、以下の範囲で設定できます －30p、60p選択時 00:00:00:00（初期設定）～ 23:59:59:29 －25p、50p選択時 00:00:00:00（初期設定）～ 23:59:59:24 • 24p選択時は末尾2桁を0 ～ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます
		RESET	タイムコードをリセットする • [OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押すと実行されます
		FORMT	タイムコードの記録方式を設定する **DF** タイムコードをドロップフレーム方式で記録する（初期設定） **NDF** タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する • 次のときは、[NDF]に固定されるため[FORMT]は表示されません。 －[VMODE]が24pのとき －[V.SYS]が[PAL]のとき
		RUN	タイムコードの歩進を設定する **REC** XAVC S動画記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する（初期設定） **FREE** 本機の動作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する
		MAKE	記録するタイムコードを設定する **PRSET** 新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する（初期設定） **REGEN** 記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する • [RUN]の設定に関係なく、タイムコードはRECモードで歩進します
		BACK	[TCSET]画面に戻る

次のページにつづく↓

UBSET		PrSet	ユーザービットを設定する • 4桁の数値を選びENTERを押して決定します • ユーザービットは、以下の範囲で設定できます 00:00:00:00（初期設定）～ FF:FF:FF:FF
		RESET	ユーザービットをリセットする • [OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押すと実行されます。
		T.REC	ユーザービットの記録時間を設定する **OFF**　時刻をユーザービットとして記録しない（初期設定） **ON**　時刻をユーザービットとして記録する
		BACK	[UBSET]画面に戻る

ご注意

• [PRO]が[OFF]のときには、[TC/UB]は表示されません（27ページ）。

タイムコードとは

タイムコードは、録画する際に時間経過に従って、時/分/秒/フレームの情報を映像データ上に記録することで、高度な映像編集をアシストすることができる機能です。[V.SYS]が[NTSC]で30pまたは60pのとき、タイムコードの1秒ごとのフレーム数と実際のNTSC映像信号のフレーム周波数にわずかな差があるため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初のフレーム（30p時は2フレーム、60p時は4フレーム）が間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

ユーザービットとは

ユーザービットは、日付/時間/シーン番号などの任意の情報（16進数8桁）をユーザービットとして記録でき、複数台カメラを使用した際など、動画編集時に便利な機能です。

IRリモコン

設定画面 SETUP → IR-RC

赤外線リモコン（RMT-845（別売））で記録スタートストップやタイムコードリセットを行うことができます。
設定は[SETUP]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**
2 **NEXTボタンを押して[IR-RC]（IR-Remote Controller）を表示させ、ENTERボタンを押す**
3 **NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す**

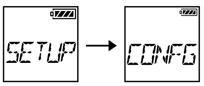
	ON	赤外線リモコンで本機を操作する
✓	OFF	赤外線リモコンで本機を操作しない
	BACK	[IR-RC]画面に戻る

ご注意

- IRリモコン機能がご使用できるリモコンはRMT-845(別売)のみとなります。
  お求めの際は、ソニーサービスセンターでお買い求めください。
- RMT-845（別売）では、以下の設定のみ操作できます。それ以外の操作を行うことはできません。
  - タイムコードのリセット
  - 録画スタートストップ

環境設定

設定画面



[CONFG]から以下の設定ができます。
「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。
本機のメニュー階層は9ページをご覧ください。

項目	画面表示
Wi-Fiリモコン	Wi-Fi
GPSログ	GPS
飛行機モード	PLANE
USB給電	USBPw
オートパワー OFF	A.OFF
操作音	BEEP
日時・エリア設定	DATE
サマータイム設定	DST
言語設定	LANG
NTSC/PAL切り換え	V.SYS
設定値リセット	RESET
フォーマット	FORMT

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

Wi-Fiリモコン

設定画面 SETUP → CONFG → WI-FI

本機とライブビューリモコン、またはスマートフォンをWi-Fiで接続すると、接続した機器から本機の操作ができます。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[Wi-Fi]（Wi-Fi）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	ON	ライブビューリモコンで本機1台を操作する。または、スマートフォンで操作する
	OFF	ライブビューリモコンまたはスマートフォンで操作しない
	MULTI	ライブビューリモコンで複数の本機を操作する **NEW** ライブビューリモコンと初めて接続するときに選ぶ **CRRNT** ライブビューリモコンと以前に接続したことがある場合に選ぶ
	BACK	[Wi-Fi]画面に戻る

4 [MOVIE]、[PHOTO]、または[INTVL]を表示させる
5 ライブビューリモコンまたはスマートフォンと本機を、Wi-Fiで接続する

詳しい接続方法については、ライブビューリモコンは59ページ、スマートフォンは54ページをご覧ください。

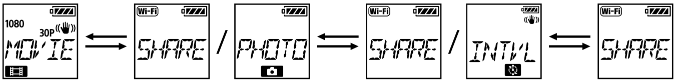
6 ライブビューリモコンまたはスマートフォンで本機を操作する

ご注意

- ライブビューリモコンまたはスマートフォンで操作すると本機のバッテリーの消耗が早くなります。
- [MULTI]の[CRRNT]は、ライブビューリモコンと初めて接続するときには表示されません。

コピー

設定画面



スマートフォンからの操作で本機で撮影した動画や静止画をスマートフォンにコピーできます。

1 本機の電源を入れ、NEXTボタンを押して撮影モードを選ぶ

MOVIE：動画モード

PHOTO：静止画モード

INTVL：インターバル静止画記録モード

2 スマートフォンのアプリを起動し、Wi-Fiで接続する

スマートフォンの設定については、「スマートフォンとつなぐ」をご覧ください（55ページ）。

3 スマートフォンのPlayMemories Mobileの画面で本機をコピーモードに切り換える

4 スマートフォンでコピーしたい画像を選ぶ

ご注意

- Wi-Fiリモコンを起動する前にPlayMemories Mobileを最新版にアップデートしてください。
- 撮影モード(動画モード/静止画モード/インターバル静止画記録モード)のときに画像をスマートフォンにコピーできます。
- 撮影スタンバイのときのみモード切り換えができます。
- [PRO]を[ON]にして記録したXAVC S動画は、コピーできません。

GPSログ

設定画面 SETUP → CONFG → GPS

動画撮影時に、本機のGPSを使って位置情報と移動速度を記録します。
ソフトウェアPlayMemories Homeを使うと、GPSログと動画をパソコンに取り込んで地図と一緒に楽しむことができます（61ページ）。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[GPS]（GPS）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	ON	動画撮影時にGPSログを記録し、静止画撮影時に位置情報を記録する
	OFF	GPSログ機能を使わない
	BACK	[GPS]画面に戻る

ご注意
- GPSログは、動画撮影時のみ記録されます。
- 位置情報を記録しない場合はGPSログを[OFF]にしてください。
- 飛行機の離着陸時には、飛行機モードを[ON]にしてください（36ページ）。
- GPS機能は、ご利用になる国や地域の規制に従ってお使いください。
- 初めて使う場合やしばらく使わなかった場合は、位置情報を記録できるまで数十秒から数分かかることがあります。GPSアシストデータを取り込むと、測位時間を短くすることができます（35ページ）。
- 衛星探索中、測位中はGPS受信部に指を置かないようにしてください。受信感度が低くなり、測位できないことがあります（11ページ）。
- 位置情報および経路情報をソニーが収集することはありません。
- 位置情報および経路情報をパソコン上で地図に表示するために、Google社へ、位置情報・経路情報データを提供しています。
- ログファイルの削除機能は本機にはありませんが、メディアをフォーマットすると削除されます。
- GPSログが[ON]のときに静止画を撮影すると、位置情報のみ記録されます。
- 1日に最大256個のログファイルを記録できます。記録数が上限を超えたとき、撮影はできますが、ログファイルの記録はされません。

次のページにつづく↓

測位情報を確認する

GPS起動時、GPS衛星からの電波の受信状況によって表示パネルに表示されるアイコンが変わります。

アイコン	測位状況	GPS受信状況
非表示	機能切	GPSログが[OFF]になっている、またはエラーが起きている
	衛星探索中/測位困難	衛星を探索中（測位中になるまで数分かかることがあります）
	測位中	GPS信号を受信中（位置情報を記録できます）

GPSアシストデータについて

GPSアシストデータを本機に取り込むことによって、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができます。ソフトウェアPlayMemories Homeを使って、インターネットに接続されたパソコンに本機を接続すると、自動的に最新のGPSアシストデータに更新することができます。

- 日時設定をしていない、または設定時刻が大きくずれている場合、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができません。
- GPSアシストデータの有効期限が切れている場合、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができません。

GPSサポートツールを使う

お使いのパソコンにメモリーカードを挿入しても、GPSアシストデータを更新することができます。PlayMemories Homeのメイン画面を表示して、接続した機種名→[GPSサポートツール]→インストールしたいメモリーカードのドライブを選択してGPSアシストデータを更新してください。このメモリーカードを本機に挿入すると、GPSアシストデータが本機に反映されます。

飛行機モード

設定画面 SETUP → CONFG → PLANE

飛行機などに搭乗するとき、一時的にWi-Fi機能/GPS機能などの無線機器を使用する設定をすべて無効にできます。設定を[ON]にすると、表示パネルに飛行機マークが表示されます。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[PLANE]（Airplane Mode)を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

	ON	飛行機に搭乗するときに選ぶ （Wi-Fi機能/GPS機能を無効にする）
✓	OFF	通常はこの設定を選ぶ （Wi-Fi機能/GPS機能を有効にする）
	BACK	[PLANE]画面に戻る

USB給電

設定画面 SETUP → CONFG → USBPw

パソコンやUSB機器と本機をマイクロUSBケーブル（付属）で接続するとき、接続先からUSB給電ができます。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[USBPw]（USB Power）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	ON	マイクロUSBケーブルで接続したときに給電する
	OFF	マイクロUSBケーブルで接続したときに給電しない
	BACK	[USBPw]画面に戻る

ご注意

- マイクロUSBケーブル接続中にUSB給電の設定を変更した場合は、マイクロUSBケーブルを一度取りはずして、再度接続してください。
- 電源供給が1.5A未満のUSB機器では正常に給電できない場合があります。
- 充電中に本機の電源を入れると、給電状態に変わります。

コンセントを使って給電するには？

USBチャージャー AC-UD20（別売）をお使いください。本機と接続する場合は、マイクロUSBケーブル（付属）をお使いください。

オートパワーOFF

設定画面 SETUP → CONFG → A.OFF

自動電源オフの設定が変更できます。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**
2 **NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す**
3 **NEXTボタンを押して[A.OFF]（Auto Power Off）を表示させ、ENTERボタンを押す**
4 **NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す**

	10sec	約10秒後に電源が切れる
✓	60sec	約60秒後に電源が切れる
	OFF	自動的に電源を切れなくする
	BACK	[A.OFF]画面に戻る

ご注意

- 以下の場合は、オートパワー OFFが無効になります。
  - メディア記録中
  - 動画撮影中、インターバル静止画記録中
  - 動画再生中、スライドショー中
  - Wi-Fi接続処理中、Wi-Fiリモコン接続中、スマートフォンへ画像転送中
  - HDMI接続中
  - USB給電中
  - マスストレージ接続中
- 以下の場合は、オートパワー OFFを[10sec]または[60sec]に設定していても、電源が切れる時間が延長されます。
  - [SETUP]設定操作中
  - 静止画再生中
  - Wi-Fiリモコンの設定が[ON]になっており、Wi-Fiアイコンが表示されているとき

操作音

設定画面 SETUP → CONFG → BEEP

操作音のON/OFFを設定します。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[BEEP]（Beep）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	ON	全ての操作音が有効
	SILNT	以下の操作音のみ有効 • 起動音 • 撮影開始音 • 撮影終了音 • シャッター音 • 無効音/エラー音
	OFF	全ての操作音が無効
	BACK	[BEEP]画面に戻る

言語設定

設定画面 SETUP → CONFG → LANG

表示言語を設定します。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[LANG]（Language）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	EN	英語に設定する
	FR	フランス語に設定する
	BP	ブラジルポルトガル語に設定する
	BACK	[LANG]画面に戻る

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

NTSC/PAL切り換え

設定画面

本機をお使いになる地域のテレビ方式によって設定を選びます。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して[V.SYS]（Video System）を表示させ、ENTERボタンを押す
4 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓		テレビ方式がNTSCのときに選ぶ
		テレビ方式がPALのときに選ぶ
		[V.SYS]画面に戻る

5 NEXTボタンを押して[OK]表示中にENTERを押す
[OK]表示中にNEXTボタンを押して[CANCL]を選び、ENTERボタンを押すとNTSC/PAL切り換えはキャンセルされます。

ご注意

- 設定を変えると、本機が自動的に再起動します。
- NTSC（PAL）でフォーマットや記録を行った記録メディアは、PAL（NTSC）では記録、再生はできません。NTSC/PAL切り換え後、[FORMT] というお知らせメッセージが表示された場合は、そのまま確認画面に進み、[OK]を選択してメディアをフォーマットするか、別の記録メディアをお使いください（43ページ）。

設定値リセット

設定画面 SETUP → CONFG → RESET

設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[RESET]を実行しても、画像は削除されません。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

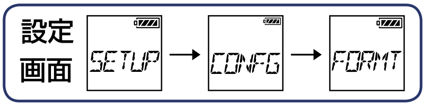
2 **NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **NEXTボタンを押して[RESET]（Reset）を表示させ、ENTERボタンを押す**

4 **[OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押す**

リセットが完了すると自動的に再起動します。
[SURE?]または[OK]表示中にNEXTボタンを押して[CANCL]を選び、ENTERボタンを押すとリセットはキャンセルされます。

フォーマット



フォーマット（初期化）とはメモリーカード内の画像をすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。
設定は[SETUP] → [CONFG]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[CONFG]を表示させ、ENTERボタンを押す

3 NEXTボタンを押して[FORMT]（Format）を表示させ、ENTERボタンを押す

4 [OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押す

[DONE]が表示されるとフォーマットが完了します。
[SURE?]または[OK]表示中にNEXTボタンを押して[CANCL]を選び、ENTERボタンを押すとフォーマットはキャンセルされます。

ご注意

- 大切な画像は保存してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は以下の操作を行わないでください。
  - ボタンの操作
  - メモリーカードを取り出す
  - ケーブルの抜き差し
  - バッテリーの抜き差し

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

アクセサリーを使う

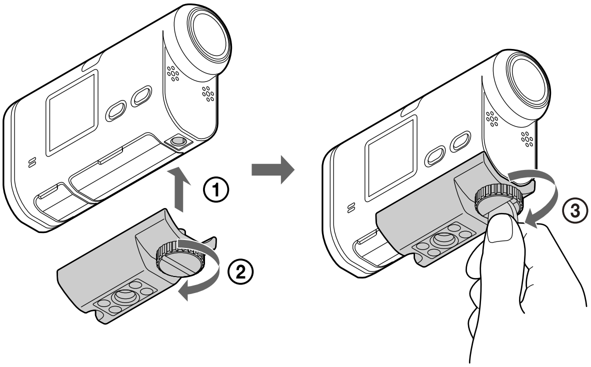
最新のアクセサリー情報は、本機のウェブサイトをご覧ください。

三脚アダプター

本機を三脚アダプターに取り付けると、ウォータープルーフケースを使わずに本機をアクセサリーに取り付けることができます。また、三脚アダプターを取りはずさずに、マルチ/マイクロUSB端子のカバーを開閉することができます。そのままパソコンやUSB機器との接続が可能です。

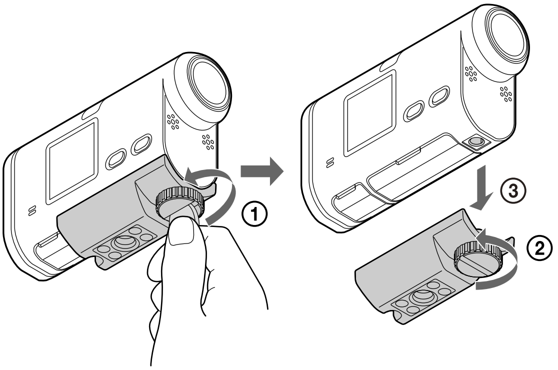
取り付けかた

1 本機の三脚アダプター取り付け穴と、三脚アダプターのネジ部をあわせる
2 本機の底面にあわせながら、三脚アダプターのネジを矢印の方向に締める



取りはずしかた

1 三脚アダプターのネジを矢印の方向に緩める
2 三脚アダプターを本機から取りはずす



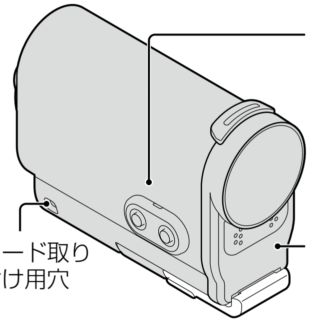
ご注意

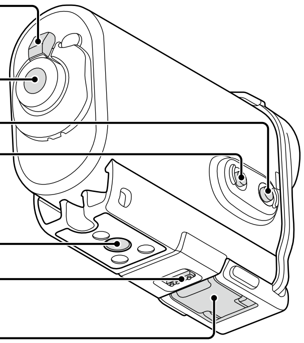
- 本機を水中に入れる可能性があるときは、ウォータープルーフケースをお使いください（45ページ）。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

ウォータープルーフケース（SPK-AS2）

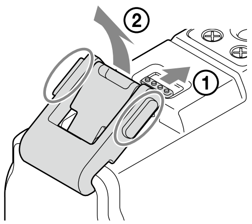
本機をウォータープルーフケースに取り付けると、海辺で撮影することができます。



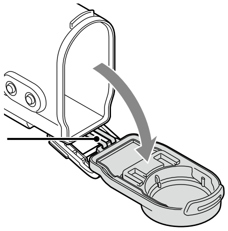


取り付けかた

1 バックルロックを①の方向にスライドさせたまま、円で囲んだ部分を持って、バックルを②の方向に持ち上げる

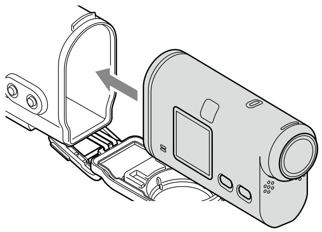


2 ケースカバーを開ける



3 ケース本体に、本機を入れる

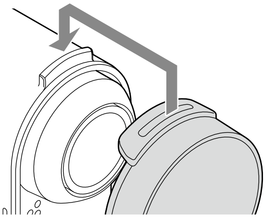
- 本機のREC HOLD（誤操作防止）スイッチを解除してください。



目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

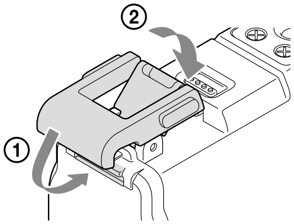
次のページにつづく↓

4 ケースカバーの凹部分をケース本体の凸部分にはめ込む



5 ケースカバー底部の凸部分にバックルを引っ掛けて①、②の方向にカチッと音がするまで押して閉める

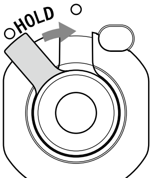
- バックルロックが元の位置に戻るまでしっかりと閉めてください。



ウォータープルーフケースの防水性能について

- 本機が装着されているときは、水深5m/30分までの撮影が可能です。
- 防水性能は当社の試験基準によるものです。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度は水温上限40℃までです。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします(有料)。
- 5m以上の水深での使用、マリンスポーツでの使用は別売りアクセサリーのウォータープルーフケース(SPK-AS1)をご使用ください。

ご注意



- HOLDレバーをロックにすると、RECボタンが操作できません。操作するときは解除してください。
- 本機をウォータープルーフケースに取り付けて水中撮影すると、画像が通常よりも鮮明に撮影されませんが、故障ではありません。
- ウォータープルーフケースに挿入後は録音はされますが、音のレベルは低下します。
- ウォータープルーフケースのリード取り付け用穴に手持ちのひもを通して、お使いになるアイテムに固定してください。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

取り扱い上の注意

- ウォータープルーフケースを水中に投げ込まないでください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を超える温水の中
  - －10 ℃以下の場所

  結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- ウォータープルーフケースにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、ウォータープルーフケース表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一ウォータープルーフケースの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（カメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

Oリングについて

ウォータープルーフケースは、Oリングを使用して防水性を保っています。
Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水没の原因になります。

Oリングを点検する

- Oリングにゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないかを充分確認して、ある場合は柔らかい布で必ず取り除いてください。
- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- Oリングを拭き取る際、布の繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、キズ、砂かみなどがないか確認してください。
- ケース本体側のOリング接触面も同様に点検してください。

水漏れの確認方法

ご使用のカメラを収納する前に、ウォータープルーフケースを閉じて水中に沈め、水漏れがないことを必ず確認してください。

Oリングの耐用年数

ウォータープルーフケースの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

次のページにつづく↓

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

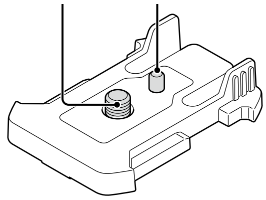
- Oリングの劣化を防ぐために、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

次のページにつづく↓

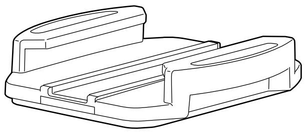
接着マウント（VCT-AM1）

お使いになるアイテムにウォータープルーフケースや、三脚アダプターを固定するときに使用します。
接着マウントは、装着バックル、平面用接着マウント、曲面用接着マウントの総称です。
装着前に、本機をウォータープルーフケースに入れるか、三脚アダプターに取り付けてください。

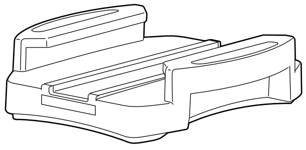
装着バックル



平面用接着マウント



曲面用接着マウント

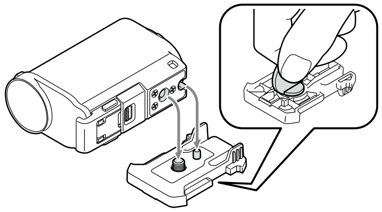


取り付けかた

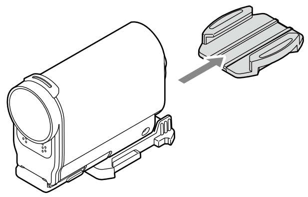
ここでは、ウォータープルーフケースを固定する場合の手順を説明します。

1 ウォータープルーフケースの底面の三脚ネジ穴に装着バックルのネジ穴を合わせ、三脚ネジを締める

- がたつきがないことを確認する。



2 手順1でセットした装着バックルを平面用または曲面用接着マウントにスライドしてカチッとはめ込む



3 接着マウントを取り付ける場所の表面のほこりや、水分や油分を充分に取る

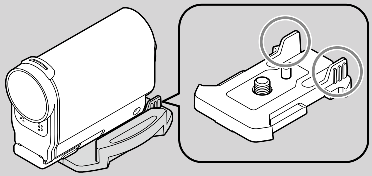
4 接着マウント裏面にある剥離紙をはがして、お使いになるアイテムに固定をする

- 接着力は、お使いになるアイテムに固定してから24時間経過してからが最も高くなります。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

装着バックルへの取り付け、取りはずしについて

装着バックルの円で囲んだ部分を押さえるようにしてつかみ、ロックをはずし、手順2と逆の方向にスライドさせてください。



ご注意

- 一度はがした平面用または曲面用接着マウントは再度お使いになれません。
- お使いのアイテムからはがすときは、ゆっくりとはがしてください。無理にはがすと、お使いのアイテムを傷めることがあります。
- 装着する際にはお使いになるアイテムの表面の状態を確認してください。汚れていたり、ごみまたは水分、油分が付着していると接着力が低下し、少しの衝撃でもはがれることがあります。
- 固定するアイテムの形状に合わせて、平面用または曲面用接着マウントをお使いください。形状の異なる固定用の接着マウントをお使いになると、少しの衝撃でもはずれることがあります。
- ご使用になるときは、ウォータープルーフケースのリード取り付け用穴にお手持ちのひもを通して、お使いになるアイテムに固定してください。
- ご使用の前に、装着バックルのネジ穴ゆるみがないこと、平面用接着マウントまたは曲面用接着マウントが確実に接着面に取り付けられていることを確認してください。

撮る

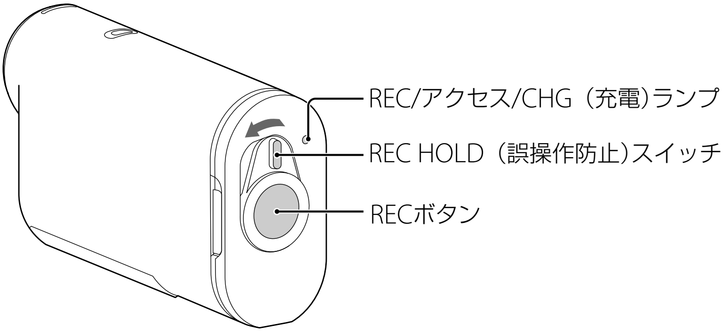
画面

REC HOLD（誤操作防止）スイッチについて

携帯時など、誤ってRECボタンが押されることを防ぎます。スイッチを図の矢印の方向にスライドするとホールドします。解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

- 撮影する前にホールドを解除してください。
- 撮影中にホールドすると、「撮影状態をキープ*」します。
- 撮影を停止した後にホールドすると、「停止状態をキープ*」します。

* 設定を変更する場合は、ホールドを解除してください。



動画モード

1 電源を入れ、NEXTボタンを押して[MOVIE]を表示させる
2 RECボタンを押して撮影を開始する
3 撮影を停止するときは、もう一度RECボタンを押す

静止画モード

1 電源を入れ、NEXTボタンを押して[PHOTO]を表示させる
2 RECボタンを押して撮影する

インターバル静止画記録モード

撮影を開始すると停止させるまで一定の間隔で静止画を撮影し続けます。

1 電源を入れ、NEXTボタンを押して[INTVL]を表示させる
2 RECボタンを押して撮影を開始する
3 撮影を停止するときは、もう一度RECボタンを押す

ご注意

- 次回電源を入れたとき、撮影モードは前回撮影時に設定したモードを維持して起動します。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

長時間撮影について

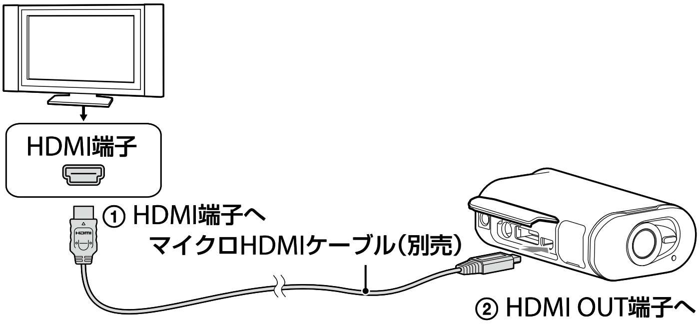
- 長時間、連続して撮影し続けると本機の温度が上昇します。一定以上の温度になると撮影が自動的に止まります。
  本機の温度を充分に下げるために、10分以上そのまま放置してください。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

テレビで見る

本機とHDMI端子付きのテレビを、マイクロHDMIケーブル（別売）を使って接続します。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 端子カバーを開いて、本機とテレビをマイクロHDMIケーブル（別売）で接続する



3 テレビの入力設定を[HDMI入力]に切り換える

4 本機のNEXTボタンを押し、電源を入れる

5 NEXTボタンを押して[PLAY]を表示させ、ENTERボタンを押す

6 NEXTボタンを押して[MP4]、[PHOTO]、または[PRO]を表示させ、ENTERボタンを押す

[MP4]はMP4動画、[PHOTO]は静止画、[PRO]はXAVC S動画を再生するときに選択します。

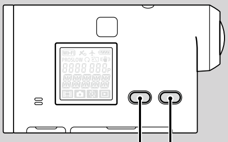
もう一度ENTERボタンを押すと、再生が止まります。

ご注意

- 本機のHDMI OUT端子には、マイクロHDMIケーブル（別売）のマイクロHDMI端子を接続してください。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- マイクロHDMIケーブル（別売）はHDMIロゴが付いているものをお使いください。
- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。

再生中コンテンツを操作するには

- 前/次の画像を見る：PREV/NEXTボタン
- 早戻し/早送りをする（動画のみ）：PREV/NEXTボタンを長押し
- 一時停止する（動画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時押し
  一時停止中にPREV/NEXTボタンを長押しするとスローで戻し/送りができます。
- ボリュームを操作する（動画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時長押し
- スライドショーを開始する（静止画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時押し
- 再生を終了する：ENTERボタン

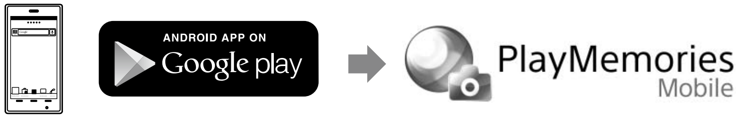


スマートフォンとつなぐための準備

スマートフォンにアプリをインストールする

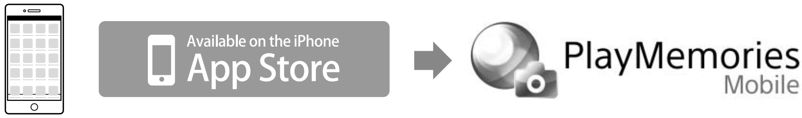
お使いのスマートフォンに専用のアプリケーションPlayMemories Mobile™ をインストールしてご利用ください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
PlayMemories Mobileの最新情報、機能情報は、こちらをご覧ください。
http://www.sony.net/pmm/

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチご使用の場合はAndroid 4.0以上が必要です。

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチはiOSではご使用できません。

ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

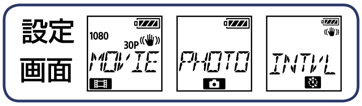
ID/パスワードを準備する

- 取扱説明書に貼付されているID/パスワードのシールを準備してください。
- スマートフォンでワンタッチ接続する場合は、ID/パスワードは不要です。

パスワードを紛失したときは

①本機とパソコンをマイクロUSBケーブル（付属）で接続する。
②本機の電源を入れる。
③パソコンの画面で、[コンピュータ]→[PMHOME]→[INFO]→[WIFI_INF.TXT]の順に表示させ、IDとパスワードを確認する。

スマートフォンとつなぐ



あらかじめ、スマートフォンとつなぐための準備を行ってください（54ページ）。

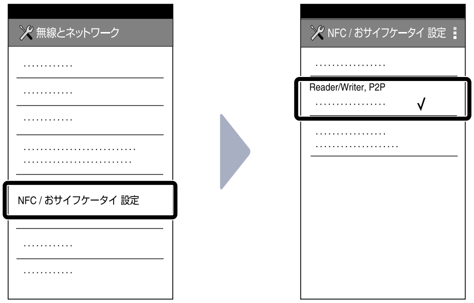
NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する場合

1 本機で[SETUP] → [CONFG] → [Wi-Fi] → [ON]を選ぶ（32ページ）

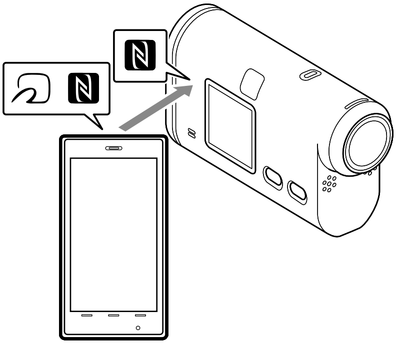
2 本機が撮影モードになっていることを確認する（51ページ）

MOVIE：動画モード
PHOTO：静止画モード
INTVL：インターバル静止画記録モード

3 スマートフォンの「設定」から「その他の設定」の「NFC/おサイフケータイ設定」を選び、「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる



4 カメラとスマートフォンをタッチする



- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで（1 ～ 2秒）動かさずにタッチし続けてください。
- カメラ側面のN（Nマーク）とスマートフォンのN（Nマーク）またはおサイフケータイマークをタッチしてください。
- 一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「NFCを使わずに接続する場合」で接続してください。

ご注意

- 飛行機モードが[ON]のときはWi-Fi機能は使えません。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。
NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

NFCを使わずに接続する場合

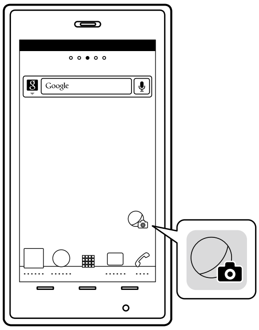
1 本機で[SETUP] → [CONFG] → [Wi-Fi] → [ON]を選ぶ（32ページ）

2 本機が撮影モードになっていることを確認する（51ページ）

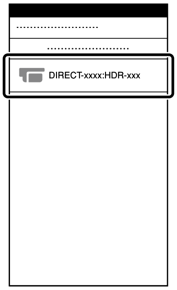
MOVIE：動画モード
PHOTO：静止画モード
INTVL：インターバル静止画記録モード

Androidの場合

1 PlayMemories Mobileを起動する



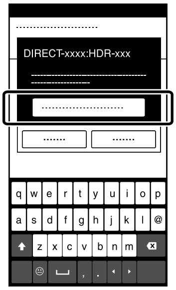
2 取扱説明書に貼付されているシールのSSIDを選ぶ



目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

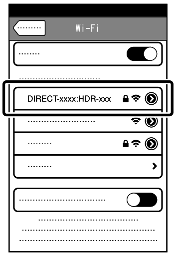
次のページにつづく↓

3 取扱説明書に貼付されているシールのパスワードを入力する（初回のみ）

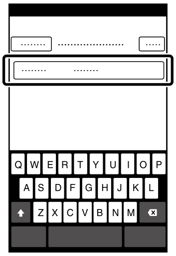


iPhone/iPadの場合

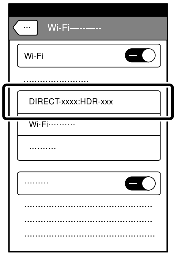
1 スマートフォンの[設定]を起動して[Wi-Fi]を選び、本機のSSIDを選ぶ



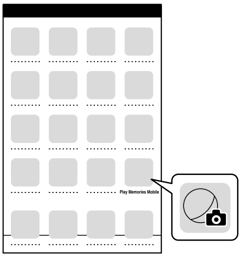
2 取扱説明書に貼付されているシールのパスワードを入力する（初回のみ）



3 貼付されているシールのSSIDに接続したことを確認する

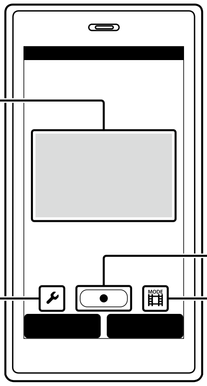


4 ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する



次のページにつづく↓

スマートフォンの画面例



Wi-Fiリモコン機能
- 撮影前、撮影中のアングル確認
- 録画画面のモニタリング

各種設定
- [カメラからコピー]
- [画質設定モード]
- [手ブレ補正]

録画スタート/ストップ

撮影モード設定
- [動画]
- [静止画]/[インターバル静止画記録]

ご注意

- スマートフォンと複数の本機をつなぐことはできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

ライブビューリモコンとつなぐ

ライブビューリモコン(RM-LVR1)を使うと、本機を頭上や離れた場所に設置した状態で、お手元のライブビューリモコン画面で画角の確認や撮影の操作をすることができます。また、複数の本機と接続して操作することもできます。

ご注意

- ライブビューリモコンを最新のファームウェアにしてお使いください。詳しくは、下記のウェブサイトをご覧ください。
  www.sony.jp/actioncam/update/

本機1台とライブビューリモコンをつなぐ

1 ライブビューリモコンの電源を入れる

操作について詳しくは、ライブビューリモコンの取扱説明書をご覧ください。

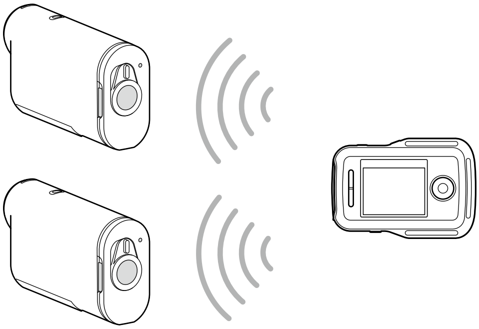
2 本機で[SETUP] → [CONFG] → [Wi-Fi] → [ON]を選ぶ(32ページ)

3 ライブビューリモコンで、本機のSSIDを選ぶ

4 本機に[ACPT?]が表示されたら、本機のENTERボタンを押す

複数の本機とライブビューリモコンをつなぐ

本機を最大5台まで接続して、ライブビューリモコンで一括した操作を行うことができます。複数のアングルで撮影するときに便利です。



1 ライブビューリモコンの電源を入れる

操作について詳しくは、ライブビューリモコンの取扱説明書をご覧ください。

2 本機で[SETUP] → [CONFG] → [Wi-Fi] → [MULTI] を選び、好みの項目を選ぶ

ライブビューリモコンと初めてつなぐときは[NEW]を、2回目以降のときは[CRRNT]を選んでください(32ページ)。

次のページにつづく↓

3 本機に[AWAIT]と表示されたら、ライブビューリモコンで本機の登録をする

本機に[DONE]と表示されたら、接続完了です。

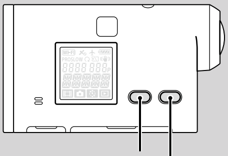
手順2、3の操作を繰り返して、複数の本機を接続してください。

ご注意

- ライブビューリモコンに本機の画像をコピーすることはできません。
- 複数の本機とライブビューリモコンの接続には、WPS方式を採用しています。本機の近くで別の機器がWPSを行なっている場合、登録に失敗することがあります。その場合は、再度手順をやり直して下さい。

かんたんに[Wi-Fi]メニューを表示するには

本機が撮影モードのときに、PREVボタンとNEXTボタンの2つを同時に押します。
複数の本機を設定するときに便利です。



複数の本機で撮影した画像を楽しむには

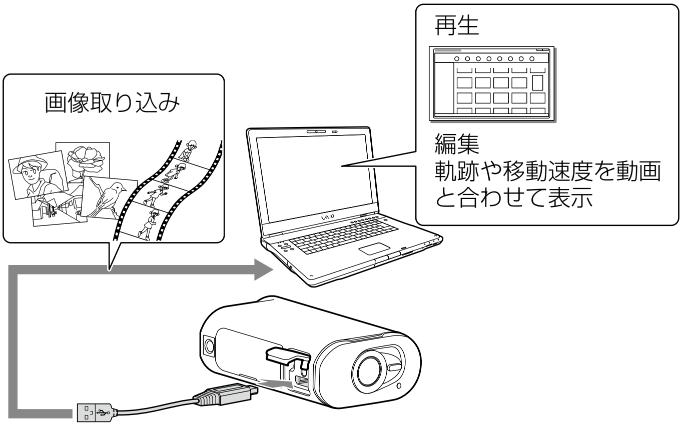
ソフトウェアPlayMemories Homeを使うと、動画を1つの画面で表示するマルチビュー編集を行うことができます。

ご注意

- 本機のWi-Fi接続は、スマートフォン又はライブビューリモコンとの間でのみ行い、その他のWi-Fiアクセスポイントには接続しないでください。ライブビューリモコン又はスマートフォン以外のWi-Fiアクセスポイントとの接続は、お客様の責任において行われるものとします。その場合、本機は不正にアクセスされ、通信内容が傍受される危険性があります。

パソコンとつないでできること

ソフトウェアPlayMemories Homeを使うと、撮影した動画や静止画をパソコンに取り込んで画像の活用ができます。
以下のURLからインストールしてください。
www.sony.net/pm/



- パソコンとの接続は、マイクロUSBケーブル（付属）をお使いください。
- PlayMemories HomeのWindows版とMac版では、できることが一部異なります。
- その他のアプリケーションについては、以下のサイトをご覧ください。
  Windows: http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/
  Mac: http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコン環境を確認するには

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認いただけます。
www.sony.net/pcenv/

PlayMemories Homeの使い方を見るには

PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

パソコンの準備をする

PlayMemories Homeをインストールする

1 パソコンの電源を入れる

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

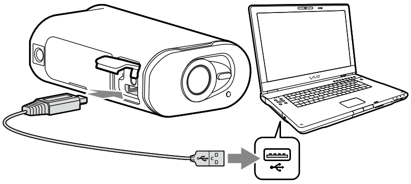
2 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、PlayMemories Homeをインストールする

www.sony.net/pm/

- PlayMemories Homeサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmh-sj/）で詳しい操作方法をご確認いただけます。
- インストールが完了すると、PlayMemories Homeが起動します。

3 本機とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続する

- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。



ご注意

- 本機を動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、本機からマイクロUSBケーブル（付属）をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの△をクリックし、（取りはずしアイコン）をクリックしてください。Windows Vistaのときはタスクトレイのをクリックしてください。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

パソコンとの接続を切断するには

Windows 7/Windows 8のときは

1 タスクトレイの をクリックする
2 通知領域の切断アイコンをクリックする
3 取りはずすデバイスをクリックする

切断アイコン

Windows Vistaのときは
以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。

- マイクロUSBケーブル（付属）を抜く
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする
2 （USB大容量記憶装置デバイス）→[停止]をクリックする
3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする

ご注意

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンからのアクセスは、PlayMemories Homeを使用してください。パソコンから直接本機のファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、PlayMemories Homeを使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- Mac使用時は、ドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 65 ～ 69ページの項目をチェックし、本機を点検する。
❷ 本機の電源を切り、再び入れる。
❸ 相談窓口に電話で問い合わせる。

次のページにつづく↓

バッテリー・電源

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付けてください。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（13ページ）。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。
- オートパワー OFFの設定で[OFF]を選択すると、自動的に電源が切れなくなります。

バッテリーの持続時間が短い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 本機を長期間使用していない場合は、何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。
- バッテリーを充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときはバッテリーが劣化している可能性があります。相談窓口にお問い合わせください。

充電できない。

- 本機の電源を切ってから接続してください。
- マイクロUSBケーブル（付属）をいったんはずして、接続し直してください。
- マイクロUSBケーブル（付属）を使用してください。
- 充電に適した温度範囲（10 ℃～ 30 ℃）で充電してください。
- パソコンの電源を立ち上げてから本機を接続してください。
- パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
- パソコンのUSBコネクタにマイクロUSBケーブル（付属）を直接つないでください。
- 対応しているOSのパソコンで充電してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- 満充電し直してください。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットしてください（43ページ）。

次のページにつづく↓

画像を撮る

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- マイクロHDMIケーブル(別売)を接続してください。

テレビに画像が出ない。

- 接続が正しいか確認してください(53ページ)。

GPS

GPSの電波を受信できない。

- GPSログを[ON]にしてください。
- 障害物の影響でGPS衛星の電波が受信できないことがあります。
- 位置情報を確実に測位するには、屋外の空の開けた場所に移動してから、本機の電源を入れ直してください。

位置情報の誤差が大きい。

- 周囲の建物などで電波が反射したり、受信した電波が弱いなど、状況により最大で数百メートルの誤差を生じます。

GPSアシストデータを取り込んでいるのに測位に時間がかかる。

- 日時設定をしていない、または設定時刻が大きくずれています。正しく日にちを設定してください。
- GPSアシストデータの有効期限が切れています。最新のGPSアシストデータに更新してください。
- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ屋外の空の開けた場所でご使用ください。

位置情報が記録されていない

- 動画にGPS位置情報をつけたままパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeを使用してください。

次のページにつづく↓

パソコン

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、本機を充電してください。
- 本機の電源を入れてからパソコンに接続してください。
- 接続には、マイクロUSBケーブル（付属）を使ってください。
- 一度パソコンと本機からマイクロUSBケーブル（付属）を抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください（62ページ）。

PlayMemories Homeがインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認してください。

PlayMemories Homeが正しく動作しない。

- PlayMemories Homeを終了し、パソコンを再起動してください。

画像を再生できない。

- パソコンメーカー、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi

画像の転送に時間がかかる。

- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器と本機の距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

日付/時刻がずれている。

- 日付/時刻を設定し直してください（18ページ）。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

▭

- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。

ERROR

- 電源を入れ直してください。

HEAT

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。
- 長時間撮影し、本機の温度が上がっています。撮影を終了してください。

NoIMG

- メモリーカード内に再生可能な画像が記録されていません。

LowPw

- バッテリーが切れています。

BATT

- 操作を実行するためのバッテリーの残量が足りません。
- バッテリーの電流値が、最大放電電流値（外部マイクなどを接続しても動作が保証される電流値）を超えたときに表示されます。
- 電源が入っているときに不正バッテリーを検出したときに表示されます。
- バッテリーの劣化を検出したときに表示されます。

FULL

- 撮影するために必要なメモリーカードの残量が足りません。

MAX

- 撮影できるファイル数の上限を超えています。

MEDIA

- メモリーカードが正しく挿入されていません。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカードのフォーマットが正しくありません。
- XAVC S動画記録に対応していないメモリーカードが挿入されています（16ページ）。

NoCRD

- メモリーカードが挿入されていません。

NoDSP

- 再生開始時にテレビが接続されていません。

次のページにつづく↓

PLANE

- 飛行機モードが[ON]のときにGPSとWi-Fiは使用できません（36ページ）。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
画質	HQ	VGA	HQ	VGA
NP-BX1（付属）	120（130）	140（150）	60（65）	85（90）

- 25 ℃で使用したときの時間です。10 ℃～ 30 ℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。
- ()はWi-Fiリモコンが [OFF]のときの時間です。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。
マイクロHDMIケーブル（別売）でテレビを再生するおおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	再生可能時間	
画質	HQ	VGA
NP-BX1（付属）	205	210

動画の撮影可能時間の目安

MP4 平均

（単位：分）

画質	8GB	16GB	32GB	64GB
PS	35	80	160	320
HS120/HS100/HS240/HS200	35	80	160	320
HQ	60	125	250	505
SSLOW	40	80	165	335
STD	160	320	650	1305
VGA	295	595	1200	2410

XAVC S 平均

（単位：分）

フレームレート	64GB
60p/50p/30p/25p/24p	155

- [SSLOW]については、撮影時に記録できる時間を記載しています（再生時の時間ではありません）。
- ソニー製メモリーカード使用時。

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、画質設定（20ページ）によっても変わります。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。[SSLOW]では約3時間になります。

目次

やりたいことから探す

設定一覧から探す

索引

次のページにつづく↓

静止画の撮影可能枚数の目安

（単位：枚）

	8GB	16GB	32GB	64GB
2M（インターバル静止画記録）（16:9）	7700	15500	31000	40000
13.5M（静止画）	1450	3000	6000	12000

- ソニー製メモリーカード使用時。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。
  実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

バッテリーについて

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10 ℃～ 30 ℃の範囲で、REC/アクセス/CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 次のとき、充電中のREC/アクセス/CHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
- バッテリーの温度が低いときは、バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
- バッテリーの温度が高いときは、バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10 ℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- 再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

海外で使う

テレビで見るには

本機で撮影した画像をテレビで見るには、HDMI端子を搭載したテレビ（またはモニター）とマイクロHDMIケーブル（別売）が必要です。

あらかじめ[V.SYS]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。[NTSC]、[PAL]それぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

[V.SYS]を[NTSC]に設定すると見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

[V.SYS]を[PAL]に設定すると見られる国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

世界時刻表

時差	エリア設定
GMT	リスボン、ロンドン
+01：00	ベルリン、パリ
+02：00	ヘルシンキ、カイロ、イスタンブール
+03：00	ナイロビ
+03：30	テヘラン
+04：00	モスクワ、アブダビ、バク
+04：30	カブール
+05：00	カラチ、イスラマバード
+05：30	コルカタ、ニューデリー
+06：00	アルマトイ、ダッカ
+06：30	ヤンゴン
+07：00	バンコク、ジャカルタ
+08：00	香港、シンガポール、北京
+09：00	東京、ソウル
+09：30	アデレード、ダーウィン

時差	エリア設定
+10：00	メルボルン、シドニー
+11：00	ニューカレドニア
+12：00	フィジー、ウェリントン、エニウェトク、クエジェリン
-11：00	サモア
-10：00	ハワイ
-9：00	アラスカ
-8：00	サンフランシスコ、ティファナ
-7：00	デンバー、アリゾナ
-6：00	シカゴ、メキシコシティ
-5：00	ニューヨーク、ボゴタ
-4：00	サンディアゴ
-3：30	ニューファンドランド
-3：00	ブラジリア、ブエノスアイレス
-2：00	フェルナンドデノローニャ
-1：00	アゾレス、カボベルテ

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。
故障や破損の原因になります。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

本機のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約－10 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

別売りのアクセサリーについて

- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

GPSについて

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
  - トンネルの中・屋内やビルの陰
  - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
  - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- GPSログが[ON]の状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSログを[OFF]にして撮影してください。

誤差について

- 本機の電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
  本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
  本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。位置情報の取得と画像への書き込みに若干の時間差があるため、実際に画像を撮影した位置と地図上の位置が異なる場合があります。

次のページにつづく↓

規制について

- 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従ってGPSをお使いください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
この製品は国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

本体

[システム]

信号方式
NTSCカラー、EIA標準方式
HDTV 1080/60i、1080/60p方式
PALカラー、CCIR標準方式
HDTV 1080/50i、1080/50p方式
撮像素子：
　7.76 mm（1/2.3型）Exmor R™ CMOSセンサー
記録画素数：
　インターバル静止画記録時：最大200万画素相当(16：9)
　静止画モード記録時：最大1,350万画素相当（16：9）
総画素数：約1,890万画素
動画時有効画素数(16：9)：約1,350万画素
静止画時有効画素数(16：9)：約1,350万画素
レンズ：
　ZEISSテッサーレンズ
　F2.8
　f=2.8 mm
　35 mmカメラ換算では
　動画：f=17.1 mm（16：9）*
露出制御：自動
記録方式：
　静止画：JPEG（DCF Ver2.0、Exif Ver2.3、MPF Baseline)準拠
　動画：MP4：MPEG-4 AVC/H.264、XAVC S：MPEG-4 AVC/H.264
　音声：MPEG AAC（MP4動画撮影時)、LPCM（XAVC S動画撮影時)
記録メディア：
　MP4動画撮影時：
　メモリースティック マイクロ(Mark2)
　microSD カード(Class4以上)
　XAVC S動画撮影時：
　microSD カード(Class10以上)
最低被写体照度：6 lx（ルクス）
* 手ブレ補正がOFFのとき

[入出力端子]

HDMI OUT端子：HDMIマイクロコネクタ
USB端子：マルチ/マイクロUSB端子*：
　micro-B/USB2.0 Hi-Speed（mass-storage）
*マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
外部マイク端子(ステレオ)

[電源・その他]

電源電圧：
　バッテリー端子入力:3.6 V（NP-BX1（付属))
　マルチ/マイクロUSB端子入力：5.0 V
USB充電：DC 5.0 V、500 mA/800 mA
充電時間：
パソコン経由
　NP-BX1（付属)：約245分
AC-UD20（別売)経由
　NP-BX1（付属)：約175分
消費電力：1.9 W（動画サイズが[1920×1080 30 p]のとき）
動作温度：－10 ℃～ +40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約24.2 mm × 46.5 mm × 81.5 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
本体質量：約67 g (本体のみ)
撮影時総質量：
　約92 g (NP-BX1（付属)含む)
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
リチャージャブルバッテリーパック：
NP-BX1（付属)
　最大電圧：DC 4.2 V
　公称電圧：DC 3.6 V
　定格(最小)容量：4.5 Wh（1240 mAh）
　使用電池：Li-ion

[ワイヤレスLAN]

対応規格：IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯：2.4GHz帯
セキュリティー：WPA-PSK/WPA2-PSK
接続方式：WPS（Wi-Fi Protected Setup）
アクセス方式：インフラストラクチャーモード
NFC：NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

次のページにつづく↓

[アクセサリー]

三脚アダプター

外形寸法：約23.0 mm × 14.0 mm × 48.7 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
質量：約12 g

ウォータープルーフケース(SPK-AS2)

外形寸法：約35.5 mm × 62.0 mm × 96.0 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
質量：約55 g
耐圧：水深5m*、連続30分間の水中撮影が可能
* 本機が装着されているとき

接着式マウント(VCT-AM1)

装着バックル
外形寸法：約43.5 mm × 14.0 mm × 58.5 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
質量：約15 g
平面用接着マウント
外形寸法：約50.0 mm × 12.5 mm × 58.5 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
質量：約14 g
曲面用接着マウント
外形寸法：約50.0 mm × 16.0 mm × 58.5 mm
(幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
質量：約16 g

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- メモリースティックおよび は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、シスコの登録商標または商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、“ ”、“プレイステーション” および “PlayStation” は同社の登録商標です。

- “Works with PlayStation3” ロゴは、特定のPlayStation3専用ソフトウエアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™ マーク、® マークを明記していない場合があります。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HDR-AS100Vをお選びください。http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

ア行

インターバル静止画記録 25
インターバル静止画記録モード ... 51
オートパワー OFF 38

カ行

各部の名前 11
画質設定モード 20
カラー設定 26
環境設定 31
記録時間（動画） 70
記録枚数（静止画） 71
警告表示 68
言語設定 40
コピー 33
困ったときは 64

サ行

サマータイム設定 19
シーン 24
充電 14
上下反転 23
スマートフォン 54, 55
設定 9
設定値リセット 42
操作音 39

タ行

タイムコード/ユーザービット 28
手ブレ補正 22
撮る
　静止画 51
　動画 51

ナ行

日時・エリア設定 18

ハ行

バッテリー 72
飛行機モード 36
フォーマット 43

マ行

マルチ/マイクロUSB端子 62
見る
　静止画 53
　動画 53

ラ行

ライブビューリモコン 59

アルファベット順

A.OFF 38
BEEP 39
COLOR 26
CONFG 31
DATE 18
DST 19
ENTER（メニュー決定）ボタン 10
FLIP 23
FORMT 43
GPS 34
GPSログ 34
HDMI OUT端子 53
INTVL 51
IR-RC 30
IRリモコン 30
LANG 40
LAPSE 25
MOVIE 51
NEXTボタン 10
NFC 56
NTSC/PAL切り換え 41
PHOTO 51
PLANE 36
PLAY 53
PREVボタン 10

次のページにつづく↓

PRO 27
REC/アクセス/
CHG（充電）ランプ 14, 51
REC HOLD（誤操作防止）
スイッチ.. 51
REC ボタン... 51
RESET.. 42
SCENE... 24
STEDY... 22
TC/UB 28
USB 14
USBPw 37
USB給電 37
V.SYS.. 41
VMODE... 20
Wi-Fi 55
Wi-Fi リモコン.................................... 32
XAVC S 27